

## 鳥由来新型インフルエンザ対策の一層の推進について

平成 21 年 4 月 2 日  
与党鳥由来新型インフルエンザ対策  
に関するプロジェクトチーム

鳥由来新型インフルエンザの発生は、依然として、予断を許さない状況が続いているが、現在、世界的な金融・経済危機によって、日本の社会経済には将来への不安感が高まっている。

新型インフルエンザ対策については、本プロジェクトチームの提言を受け、着実に進められているが、こうした状況の中では、国民が安心感を持てる対策を、さらに加速して推進していくことが必要である。

以上のことから、今般特に、所要予算の確保を含め下記の取組を早急に進めることを本プロジェクトチームとして強く求める。

- 一、世界トップレベルの新型インフルエンザ対策を実現するため、集中的・戦略的な国家プロジェクトとして、全国民分のパンデミックワクチンの生産期間を約 6 ヶ月に短縮するため、ワクチンの細胞培養の研究・生産体制を整備すること。
- 一、プレパンデミックワクチンについては、今般の臨床研究結果の評価も踏まえ、事前接種の可否について秋を目途に幅広い観点から検討を進め、結論を得るよう努力すること。併せて、諸外国の状況についても、情報収集に努めること。
- 一、新型インフルエンザ対策を国、地方が一体となって推進することができるよう、国は、地方公共団体に対し、今般改定された「新型インフルエンザ行動計画」、「同ガイドライン」の広報・普及を図ること。